

B. その他に、家庭で行なっている防災対策や自治体への要望などお聞かせ下さい。

- ・品川区は、1位とはおどろきました。(70代女性)
- ・防災品の周知、割引提供(40代女性)
- ・まくら元にスリッパおいてる(50代男性)
- ・ペットの避難場所が、あるのか知りたい(30代女性)
- ・火災危険度都内上位の地区にとって、火災発生がもっとも恐ろしい、行政の防災意識向上への努力は必要であるかと、今回の被害想定見ると他人を言っていられない、隣人の問題とともに地域の問題である、行政への要望も大切であるが、ひとり一人やるべきことがある(70代男性)
- ・防災対策①家具を買わない・置かない(生きる為に必要最小限の物品だけを持つようにし、出来る限り無駄な物品を買わず、不用品を処分することで、箆筒などが不要になっている)／洗濯排水をトイレ用のため置きしているの、常時バケツに数杯の水が置かれているのが、断水時のトイレ水や消化水がわりになっている／通帳・印鑑・貴重品は家に置かず全て鞆で常に持ち歩いている／マッチ・電池・ラジオを備蓄している。自治体②商店街などのはみ出し看板や放置自転車に対する日ごろからの更なるこまめな厳しい取り締まりがいざという時の為に大切である、中延→旗の台の一方通行がいつも不快なほどスムーズでない(50代男性)
- ・本アンケートと同時に頂いた区議会報告が誠に内容の充実した記事で大変勉強になりました。
- ・食料・生活用品等を少しずつ備蓄するよう心がけている、米・味噌・水・炭・コンロ・灯油など(80代男性)
- ・どうすれば良いのか、考え中です、自治体には火災対策を徹底してもらい、火が拡がらないようにしてもらいたい。(70代男性)
- ・耐震耐火建築の家なので、家の中に居た方が安全かなと思っています、火災の時は、逃げますが。町会の防災訓練・避難訓練に参加しています。ペット対策が心配です。(70代女性)
- ・80才を越す私どもは、自分が移動するのも大変なので、どの時点で移動すべきかなど事をかけてもらいたい。区によっては個人持ちや、家に設置して指示を流すものなどを、配られている所もある、本区はどうなっているのだろうか(80代女性)
- ・避難場所が遠い、近くに良い所があるのに、そこは別の他区!(60代男性)
- ・耐震対策は考えているだけで実行していない(60代男性)
- ・主人義雄 ねたり、おきたり要介護2、85歳・妻昌子、車を押して歩く 要介護1、86歳 主人の食事や介護をする(80代女性)
- ・災害対策のため、建築基準を厳しくして欲しい(ビルとビルの間隔、広場、公園用地を確保する) 前区長の時代からゼネコンに優利な方針が続いている(50代女性)
- ・楽に考えています、自然を甘くみずにしていきます。(40代性)
- ・マンション自治会・町会で防災運動を行っていますが、参加・活動する人は非常に少ないです。区の広報や他の方法で防災意識を高めて欲しい。(60代男性)
- ・品川区指定の避難場所の勝島までは電柱などの倒破で並大抵でないと思う(80代性)
- ・家具は予防できるが冷蔵庫などカベに穴をあけなくてはいけない場合、賃貸では難しい。マンションの備えつけの消火器の数を増やしてほしい。(法律で決まっている最低本数を改善してほしい)(なし)
- ・要望というより、実情なんだけど、まず情報がない、パソコンなんて持ってないし、インターネットも使えない。なにをどうすればより、何をどこで、いくらで、買えばよいか、わからないし、地域ともつながりもない。ついでに携帯で管理されて自由にならない。(40代男性)
- ・ひと部屋だけ家具をいっさい置かない部屋をつくり、皆でそこで寝ています、避難部屋にもしま

す。(40代女性)

- ・皆、安全ににげられる場所の(70代性)

- ・机上の計画ばかりに見えて、実際地震が起きてたら区民を守れない、まず賛成反対の前に、具体的論議(区民に対して、責任ある)をすべきで、議員さん達も、もっと勉強をすべきである(70代男性)

- ・寝室にクツを置いている・非常用の道具一式をまとめてリュックサックに入れて置いている・自治体の要望は、強いて言うなら防災対策として何をやっているかを周知してほしい。何をやるべきで、何をやっていないかも周知してほしい。(20代男性)

- ・各家庭で初期消化の徹底。(60代女性)

- ・最近、起してきたので地域の集会場所などがわかりません。詳しくわかるようなお知らせがあったら嬉しいです。(30代女性)

- ・1年に1回、町会の林試の森で防災訓練に参加をするようにしています。でも食品を購入しても結局ムダになってしまいます。半年に1度は、確認しないとイケませんね。(40代女性)

- ・町会の運営に、不満も持っているため、素直に防災訓練などに参加できません。いざ、災害が行った場合、町会単位での活動になるであろうとは思いつつ、やや不安を持つ。(50代女性)

- ・東日本大震災後は危機意識が高まったものの、特に対策はしないままです。備蓄はしたいけれど、単身者世帯では金銭的負担も、消費期限、置き場所などでも容易に取り組めない要因です。区でどれだけの備えをしているのかももっと知りたいです。(30代女性)

- ・地震の際(おもに津波)緊急時、大井競馬になっていますけど、海が近いのですが大丈夫でしょうか?私は、大井の方ですが、高台のビル等に避難した方が良いのではと思います。(50代女性)

- ・横断歩道橋は地震に弱く倒壊すると交通を遮断して救助物資の運搬に支障をきたす、力のある車が平らな所を走り、力の弱い人間が階段を昇って渡る。こんな非人道的な物は早く無くすべきだ、生活弱者には過酷な施設である、車優先でなく、人優先の社会に早く成って欲しい。バリアフリーは人間に有るべきだ。(70代男性)

- ・お風呂の水は捨てた後、必ず水をはる様に気をつけています。電気のスイッチは電源から切る様に心がけています(70代女性)

- ・自治会まかせ(60代男性)

- ・一本橋通りが、拡幅、電柱も地中化され、防災上安心感が向上した。木造密集地帯の不燃化、防火帯、通路の拡幅は進めてほしい(40代男性)

- ・公共の施設やマンションなどは人が通ると自動で電気が点灯、消灯するのに切り替える・振動技術による電気の発電を普及させる(慶応大学のベンチャー起金)・結局、電気住宅が問題・ガスコンロと石油ストーブを電気に変えるように促進する、または税金をかける(なし)

- ・古いマンション(アパート)等に対して、耐震化(補強)費用の一部を行政が負担して、耐震化の促進。(40代男性)

- ・安全の何たるかを知らない人がいくら安全を説いても無駄です安全に絶対はありません、必ず事故は起きます、何故あ・聞きたければ、詳しくお話しします。(70代男性)

- ・災害時、インターネットが使えるようなインフラ強化(40代男性)

- ・5階建て以上のビルの固有振動数の測定を所有者に義務付け、防振ダンパーの取付も義務付けさせる。費用は公的融資制度を設ける。(60代男性)

- ・津波や大雨の時の洪水などの時、どこへ逃げればいいのか、わからない。自分たちの居る家が海抜何mなのか、知らないのが不安。(50代女性)

- ・煙探知器を付けていますが、感度がよすぎて、お魚を焼いても煙で火事です!火事です!と鳴っ

てしまいます。最近はお魚を焼くのがこわくなって回数が、うんを、へってしまいました。

・災害などの緊急時は持ち出す物を決めて直ぐに目に付くところに置いている。自治体への要望は都区にありませんが、非常事態発生時には帰宅困難者が出ますので何等かの対策法を考えて欲しいです。(60代男性)

・賃貸物件(大家、不動産会社など)に対して耐震対策を義務付けて欲しい。(40代 女性)

・電柱の地中化を推進して下さい。(戸越公園の周辺) その他、住宅のセットバック、隅切り部分への石、ポール等の禁止もお願いします。(40代 男性)

・背の高い家具を置かない。食料、水を三日分持ち出せない。一日分を持っていけば後は区や都、国等で保管すべきと考えます。(50代 女性)

・町会費、区民税など取るだけは取るが何も行われていない。(70代 男性)

・自分の身は自分で守ることにしている。(70代 男性)

・いざとなったら何も出来ないと思います。防災のセットが家に置いてあっても気休めでしかなく、ご近所と協力し合う対策、訓練、大規模なものではなく(誰かがやるだろう)近隣での対策も必要だと思う。(40代 女性)

・自治体の役割は住民の命を守ることだと思います。だからといって、自治体がすべてに責任を負えるわけではないということをもっとはっきりと住民に知らせることが重要だと思います。「実は何も出来ないのが自治体だ」ということを正しく住民に理解してもらうことを恐れずに伝えることから住民自身が何をどうすれば良いのかを理解し行動することが求められるわけで、その中で自治体に何を求めるのかを優先順位を決めて求めていくべきではないのかと思う。(80代 女性)

・上記の家具転倒防止工事を前からやりたいと思っていますが躯体部分への釘(アンカー等)の打ち込みが禁止されている為実施できない。何とか指針を行政(防災課、消防署等)で指針を作成してもらいたい。(70代 男性)

・品川区大井は住宅密集地がたくさんあります。災害時、どう考えても消火できるとは思えません。初期消火のためにも、消火器や井戸などの水を何メートルおきなどで備えて欲しいと思います。家庭では防災グッズを用意しています。(30代 女性)

・防災用品を準備している。避難する方向が分かる標識みたいなものを設置して欲しい。(50代 女性)

・地下シェルターを町会一つ一つあると良いと思う。例えば各家庭の「絶対守りたい」物を保管できる地下シェルター金庫を持てればより安全安心に暮らせる。(40代 女性)

・防災対策に迫られ復興のビジョンが無い方が安心できないのではないかと? 防げる災害と防げない災害。どちらもどのように復興させるのが分かる方が良いと思う。災害が起きてからでは遅い。復興のビジョンがあって、対策が考えられるのではないのでしょうか?(60代 男性)

・東日本大震災直後の区議選にて「つっぱり棒設置」元々のマニフェストはかろうじて300万程度予算化されました。しかしこれが「市民の代表」を標榜する政党の言うことでしょうか。都条例の基幹道路添等の耐震診断義務化等には賛成されたのでしょうか。独自法案は結構ですが、「賛成→否決・反対→可決」の共産党の手法ではマニフェストは存在しませんね。前近化的な、法案通過能力のないダメ政党と思っています。あなた達の言う「庶民」とはあなた達の言う「弱者」であり、全市民ではありません。(弱者も迷惑しています。何も起らずに。)(50代 男性)

・死を待つのみ。何をやっても無駄になる。東京大空襲を知らないから、そういうことを質問するのだ。(70代 男性)

・立会い通り沿い(二葉四丁目)に住んでいるが以前はたまに立会川が台風、大雨であふれる事があり、防水板を設置した。2~3年前に荏原町付近から海近くまで立会川のバイパスが完成して、

あふれる心配はなくなったと聞いたことがあるが、本当か知りたい。以前、区の土木課に問い合わせても、要領を得た答が得られなかった。また、大震災のときの津波発生で、水が逆流し津波に襲われることはあるのか。また、液状化になる危険性はどうか、といった不安に答えてほしい。安心できる町づくりを進めてほしい。(60代 男性)

・ペットがいるので、避難場所での受け入れをしてもらえるか不安。(40代 女性)

・神戸の震災の教訓から遊びながら防災知識を覚える取り組みがあり全国で取り組まれているようで、小学校などで取り入れられればと思いました。小学校は点在していた方が、いざと言う時の避難所になりやすいのでは？火がつかえて、水がでる施設は貴重だと思います。(30代 女性)

・防災対策(地震がきたら、火に気をつけ)(ドアを開ける)

・家を直したくて必要です。でも、要請するお金はありません。(70代 女性)

・避難場所は人口に対して狭すぎる様に思える。(70代 女性)

・1人暮らしなもので・・・。(50代 男性)

・ブロック塀が多すぎて怖い。地震時には必ず倒れてくる。自治体が危険である事を住民に知らせてほしい。(40代 女性)

・消火器設置場所をもっと多く、また路地裏にも町会でもっと多く巡回し特に夜九時以降、もしくはボランティアなどが巡回し町全体の安全を見守ってほしい。(62歳 男性)

・防災袋の完備。ラジオ、懐中電灯等の電池の確保。(60代 男性)

・品川区、大田区、墨田区など地盤が弱いのではないですか。テレビ等で言われていますが。どこがどの程度か教えてほしい。(掲示板などで知らせてほしい)(50代 女性)

・タンスの下に引く「ふんばるくん」を買おうと思って商品の裏を見たら震度5の時、6の時、7の時とどうなるか書いてあってうちの地域は震度7なので使っても使わなくても「倒れる」のなら・・・と、買わなかった。非常に大事なことです。地域の大掛かりな防災訓練に参加しました。その時、品川広報に載せるのでしょうか。ヘリコプターが上空にきました。ヘリの音がうるさくて防災の説明が聴こえませんでした。沿岸部なのでいざと言う時、やっぱりヘリが来て避難の声が聞こえないと思います。特に夜など見えなくて(暗くて)音だけが頼りのとき大変困ります。(40代 女性)

・去年の地震について家庭で話し合いはしている。しかし今の品川区での防災対策について区民へ何も話が来ない。どうなっているのか分からない。どうなっているかを知ることが出来ない。(40代 男性)

・備蓄食糧等の準備開始など対策に向けて検討、着手をしています。自治体への要望としては単なる広報にとどまらず今回のこのアンケート調査のような、各住民が自分の具体的課題としてとらえ且つ、参加意識を持てるような取り組みを双方向の働きかけあいの中で形で実行してほしい。(60代 男性)

・武蔵小山地域のマンションの建設は道路中、及空地の大きい依り多数が建設をされている。その煽りで建売住宅や小さな戸建住宅が数を増やしている。大半が鉄骨モルタル張りの建築が多く制限一杯の建築で火災になった場合は類焼が多数と考えられる。特に26号(補)道路関係のマンションの風圧はこれを煽の大火が予測できる。(80代 男性)

・マンション生活ですのであまり隣近所とのミーティングはほとんど無い。(70代 男性)

・東品川三丁目に住んで40年。町会の行事に一度も参加したことが無い。集合住宅に居住、管理がどうなって・・・区からの情報は一切連絡受けたことがない。掲示板がありますが積極的に確認することは先づない。老老、後期高齢者生活でも民生委員も三年以上顔も見たことも無い。石田議員のパンフ、チラシを頂きますがいつも予定があり残念で出席できないのが残念に思っています。

石田様が議員になって直接お目にかかれる日を楽しみにしています。党の繁栄頑張ってください。(70代 男性)

・大きい地震など体験したことが無いので想像が出来ませんが潰れたら避難所には行きません。住み馴れた家で運命を共に致します。何かの時はお世話になるかもしれません。共産党も頑張ってください。自治会の活動は余り無いように思えます。(80代 女性)

・現在、ガラス戸へ張るビニールシートを検討中、耐火金属購入予定、カセットコンロを整備、無洗米を購入予定。ラジカセを用意(乾電池入済)簡易トイレ購入済み。(50代 女性)

・乾電池、ローソク、防寒用品等は準備済。木目細やかハザードマップがあれば良いのですが(自宅を中心に半径500m位)(60代 男性)

・防災センター(広町)の区民に対する防災情報に関する広報が足りない。役人だけが勉強しても絆が無いとだめだ。マンション居住者、及び弱者に対する助成、支援が不足している。役人、議員さんなど行政で飯を食っている人が楽しく旨いものを食って自己満足していても、始まらない。(40代 男性)

・情報の迅速性を自治体へ要請します。(80代 女性)

・当マンションでは定期的にチェック点検を行っている。消火器も近くにあるのでいいと思う。(60代 男性)

・なるべく高い所に物を置かないようにしています。戸棚のガラス戸はセロテープで目張りしました。(60代 女性)

・防災に対しては、諦めています。自治体に要望するのは、無理だと心得ています。(80代 男性)

・本年3月、品川区の補助をいただき、雨水タンクを設置しました。たまたま、同制度を知りましたがもっとPRしたほうがベターと考えます。(お金はかかりますが)(50代 男性)

・水、火力(炭約2俵分あり)米櫃に10kg~15kgあり、その他乾パン10缶分と缶詰約20個は保存していますので約1週間は持ちこたえられると思っています。寝室には常に大きな鉄の釘抜きとナタ、ガラスで足を怪我しなないように固い底のゴルフシューズを置いてあります。(70代 男性)

・木密地域に居住しているので火災に対する器具が一番強い。道路の拡幅及防災拠点の充実、消防設備の体制強化等。是非早急をお願いしたい。(60代男性)

・特に防災対策はありませんが自分がどこで遭遇するか分かりませんのでいちばん気になることは家族との連絡がつかなくなることです。(60代女性)

・非常持出用品をある程度揃えています。電池が自然消耗するので、電池を使わなくて良い物に切り換えて行きたい。(60代女性)

・自治会の防災部に在籍。防災訓練を実施参加している。実際には満足に災害時に活動は自分を守る事に精いっぱい十分な活動が?(70代 男性)

・高齢家庭ですので、万が一の時は助け合う事が不可能だと思う。各町内で20代の若手が参加できる会合及び訓練があればと云うのは、それだけで安心する。いわゆる町内会内の若手は、実際は年齢が高い(?)と思う。(60代男性)

・未だ身体が健康なので災害の事は気に掛けて心づもりだけはして居ります。生年月日が大正12年生まれなのでしん災の事だけは人一倍気になって、支度はしてありませんが生まれが九州なのでその点もありますが、そのときはあーしよう、こうしようとは思いますが、もう持つお金や身の廻りのもの(登山歴20年なのでザックは有りますので)しますがどうぞ宜しく。心掛けや訓練の御指導をお願いします。参加します。身体は元気です。祈ります。(80代女性)

- ・広域避難所が天王洲になっているが、津波の可能性があるので（30代男性）
- ・家庭では特にない。自治体へは、「想定外」は無い様に、後で言い訳の無い様にしてもらいたい。（血税分働けと言いたい。）（50代男性）
- ・スマートフォンにラジオのアプリをダウンロードした（3/11の震災の際にスマートフォンが何の役にもたたなかったことへの反省）（50代男性）
- ・消防車が入れない道が多い。電柱とずらせる所があれば道幅を広げて欲しい。杉並区は実施をしているとの事（NHKより）。火事の時どこへ行けば安全か具体的に示してほしい。（30代女性）
- ・品川区では自助を第一に掲げておりますが、品川区内での防災用品の情報が大変貧弱そうです。インターネット、商店街、スーパー等々の店頭では品数が少く貧弱です。品川区があっせんしている福祉工場では品不足で1～3ヶ月先でないとう注できないありさまです。福祉工場にこだわらず、品数、価格において区民が選択しやすい情報を頻繁に継続して発信して頂きたいと思っております。（70代男性）
- ・緊急時持出し袋を用意。もしもの時の御殿山へのひなん。長屋に対する耐震化対策（診断、工事の補助）。（50代男性）
- ・自治体は耐震化目標の3%との事のようにだが税金の使い道を間違ってるのではないのかな。（60代男性）
- ・地区センター等を利用して住民の声を聞き、地震対策や区の取り組み等の説明会を定期的に行う。防災用グッズはとて高く買えません。市価より安価に購買してほしい。我が家は平成13年、3月に購入のため住宅耐震化助成は適用されません。耐震診断をしたいのですが良心的で、信頼のある業者を紹介してほしいのですが・・・・。（60代女性）
- ・特別にない。（80代男性）
- ・食糧や水など、ティッシュペーパーなど、備蓄している。高い所に物を置かない様にしている。（50代女性）
- ・転倒防止のグッズは先日購入し、取り付けるところです。食糧よりもトイレが不足するとききました。災害時、使用できるトイレを用意してほしいです。災害の心配もあるのですが、何をどうしたらよいかわからないので、対策法をしりたいです。（30代女性）
- ・やたらと危機をあおる地震学者、原発学者をクビにしろ。（40代男性）
- ・災害が起きた時、阪神や東日本の際に現実起きていた、レイプ、強盗、殺人、略奪が災害後数日間の間で起きていました。そのような事の対策を要望します。具体案・・・町会など地域コミュニティに力を与える。消防団と、パトロール隊との連携。（30代男性）
- ・山王では町内のお祭りの時に防災訓練と炊き出しをしていると聞きました。品川区でも是非！（40代女性）
- ・今から家族と相談します。（60代女性）
- ・今は緊急避難場所に学校や公共施設、病院等が決められていますが、病人や老人は、遠い避難場所まで行くのは不可能です。もっと近い所で広い敷地や大きな建物がある民間の会社に一時避難場所として協力し開放してくれるよう行政で働きかけてほしいと、思います。大地震がいつ来てもおかしくないと云われる昨今ですから、大至急御検討をお願いします。（70代女性）
- ・防災対策は万全とは云えませんが、食糧、水は備蓄は7～10日分位をしておりますが、どこでなるかわかりません。町会、学校、区のセンターなどで十分な対策をしてほしい。（60代女性）
- ・原発災害対策（マスク、目張テープ等）および避難計画の確立。（30代女性）
- ・地震や災害時の緊急避難先を常に明記しておいてもらいたい。（60代男性）
- ・豊町四丁目に住んでいるが、火災危険度が高く指定の避難所も危険な場合の広域避難所が区民公

園になっているが、津波の心配もあり、本当に区民公園に避難した方が良いのか疑問です。(30代女性)

・地震時の津波は、テレビ等のメディアでは、あまり重要視されていないのが気になる(品川区は2.6mと報道されていたが・・・)。(40代女性)

・火災危険度図の赤色地区住人です。不安です。(60代女性)

・高齢者なので、津波でも何でもあきらめるしかないと思うこの頃です。(70代女性)

・大事な物だけリュックに入れている。(70代女性)

・災害発生時の一次・二次避難場所等の地図が品川区のHPから見る事が出来るが、見易くする工夫がされていない。避難場所の名前が見難かったり、重要でない色分けが多かったり、凡例が明確でない等々。(60代男性)

・火災発生時の対策方法を周知徹底させてほしい。(30代女性)

・防災と一括りに言われても返答に窮します。種類のほかに規格の問題があり、際限がない問題です。(70代男性)

・主人が車イスの為、火事になったら、林試の森に連れて行くので(週に2~3回は林試に行きます。)犬とネコが居るので大変だと思います。(70代女性)

・戦時中、空襲による火災の類焼を防ぐために、強制疎開と称して密集地域の住宅を撤去しました。しかし直径100mを超える火柱には為すすべもありませんでした。木造家屋があるかぎり火災は防げません。関東大震災でも東京が灰燼に帰したのは何と3日後でした。(70代男性)

・今日又は100年、1000年先に来るかわからない事に神経をすりへらすより、一日一日をしっかりと生きる事が大事。後は天地の神にまかすべし。自治体は物より、人材(特に子供)に力をそぐべし。(60代男性)

・地震や大雨でひなんしてわかる防災マニュアルのようなもので、竜巻で被災したすべて役所の書類がわかるようなものをとどけてもらえれば良いとおもう。(60代男性)

・道路に面する窓硝子は全部割れた場合欠けたものが飛散しないように防止テープの貼付を義務付けた方が良いと思います。高齢化世帯には専門家の派遣を!!(70代女性)

・独居住人(老人といわず)への対策(マンション住人などは近所付き合いがないので不安感あり)。(60代女性)

・各家庭に転倒予防の対策点検をしてほしい!各家庭を訪問し、不備な点を指示し、最低限の補強に補助金を出してほしい!(60代女性)

・一人で生活していると、防災訓練(年一回しかない)に参加したくても仕事と重なり不参加になりやすい。今年こそは防災対策を、と思います。(60代女性)

・特にありません。(60代女性)

・マンションとして最低限の対策を行っているのみ。町会との接点はない。(70代男性)

・災害時すぐに持ち出せるように非常食等をリュックにつめて玄関にかけている。(50代男性)

・便利を求める事は事故、事件を生む。アナログを大事にする事、共同住宅再考するべき。(70代男性)

・品川区は防災対策に積極的な印象を受けている。(30代女性)

・警報機を設置している。火の扱いに気をつけている。夜巡りを多くして欲しい。(50代男性)

・防災ラジオなどが安値や、無料でくばってもらえたら、いざというときに安心できます。(30代女性)

・インターネットメール等、連絡ツールの準備。(30代女性)

・4ℓのボトルに水を蓄えている。風呂の水等にそれを使用し又新しい水を入れて冷蔵庫脇に。年

寄はそんな程度、集合住宅故年々年を重ねて、お一人のお部屋にはもっと気配りの要、都営住宅し
っかりしてる。(80代男性)

- ・非常用持出袋の用意、懐中電灯、ろうそく等の用意。(30代女性)
- ・銀行の通帳などをすぐ持ち出せる所においている。(70代男性)
- ・道はばがせまいので、電線の地中化をすすめてほしいです。(20代女性)
- ・大井地区は火災(地震の時)の発生が心配です。防火に対する対策をはやく考え、行ってほしい
です。(60代女性)
- ・せまい道に両脇がブロック塀になっているところがあり、地震のときには倒れてくるのではない
かとこわい。建ぺい率が高すぎる。建て替え期限を決めて補助を出すなどして家と家の間を空ける
努力をしてほしい。(20代女性)
- ・自分でも少々ですが、準備はしていますが、それが生かされるかが心配です。でもほとんどが国が
しっかりしていただかないと? 3.11の時も、もどかしい所もあると思います。でもまず体を守
ることが先ですよね。元気で居られたら、先が見えると思います。皆と頑張らないとねー。(60
代女性)
- ・避難場所などが設定されているが、高齢者には遠すぎる。避難中(歩いている間)に災害に逢う
ような気がする。立派なビル(近くに多い)に避難できるよう行政で道を開いてほしい。(70代
男性)
- ・東京一の災害危険地域を返上する様、対策を急いで欲しい。(40代 女性)
- ・老人二人で暮らしています。子どもが都内にいる。長男は南品川6丁目、次女は南品川、地域が
同じような所ですのでお互いが落ち着くまでは携帯で安否は把握して、あまり動かないよう相談し
ています。次女には小学校がいますので親より子どもをしっかり守るようにとっています。(7
1歳 夫婦)
- ・今住んでいる家は大家が「古い家だから」と修繕をしてくれない。先日の大型低気圧(4月上旬)
の日には雨漏りがしてビックリした。こんな家に住んでいたら命が心配。行政からも地区15年以
上のアパート等には法的に修繕や補強等して欲しい。まだ半年もたっていないが引越しを考え中
です。(旗の台4丁目。MAPでは赤のレベル5で驚きました)(40代 女性)
- ・準備しないとイケないと思いつつもまだ手付かずの状態です。(40代男性)
- ・自宅でも避難が身につく様に緊急地震速報が発令されたらテーブル下にもぐる等子どもと一緒に
行っている。転倒するような家具は置いていない。自治体への要望としてHP等でハザードマップ
を公表して欲しい。防災意識の高い今こそ身につく知識として知っておきたい。(30代 女性)
- ・揺れた時の避難場所を各部屋で決めている。(40代 女性)
- ・避難先が小山台小学校になっていますが、この地域の人皆、小山台小学校へ行ったらパンクす
る。早い者勝ちの様でもある。防災訓練も一部の人しか参加していない。老人、障害者は無理であ
る。この辺は道も狭いし、住民も密集している。火事でも起きたらひとたまりもない。神に祈るだ
けかもしれない。(50代 女性)
- ・前回、3.11の際、女川にいたが防災無線からの情報は何一つ無かった。(聴こえなかったの
か?)震源地どこで女川地域は現在安全だとか?何か安心を与える情報が欲しかった。(60代 女
性)
- ・雨具、防寒着、食料、水の備えを各小学校、中学校に地球に足りる分の備蓄を……。自宅では
持ち出しリュックを備えています。(50代 男性)
- ・自治体のどこに要望するのかわからない。あえて言えば南恵子さんに相談したい。(70代 男
性)

・区の防災放送がひびいて聴こえません。3・11の時も全く聞こえず、余計に不安になりました。いくら放送しても聞き取りにくいのでは意味がないと思います。今の技術ではもっと聞こえやすいのでは？（30代 女性）

・地震は近々起きるでしょう。直下型に耐えうるかわかりません。多分、ほとんどの建物が耐えられないでしょう。室内の対策とか食料の備蓄とかそういう問題ではないでしょう。自然の力とはそういうものでしょう。（60代 男性）

・防災訓練を町内でごとにやるのはどうだろう。築年数が30年を超えるマンションや耐震レベルの低い家に対して補強を義務付け、補助も出してくれると助かる。（現行より多くして欲しい）災害時のハザードマップの配布や説明会などを防災の日にやってはどうか。（30代 男性）

・地域の人達が顔を合わせておくようなチャンスが何かあると良いです。今のままだといざと言う時がいきなり本番で助け合う気持ちはあってもすぐに発揮できるか心配です。炊き出し大会とか少し楽しい要素があるとよいのか・・・難しいですが。「身の安全、無事確認隊」みたいなのを結成してみるとか・・・。（30代 女性）

・食器棚等ガラス面にフィルム。簡易トイレ。各一個ずつ懐中電灯あり。ろうそく。（50代 女性）

・自分で一人分ですがリュックに水とかカンパン、下着など色々用意してベッドのところに用意しております。（60代 女性）

・非常用品の用意。（20代 男性）

・アパート住まいなので町内会の誘いが無い為自主的に近所に挨拶しかできません。アパート住まいは若年の方が多いのでいざと言う時戦力になるはず。彼ら彼女らをコミュニティーに入れることを考えて欲しい。例えば米50キロを100m移動。→20キロ男性。2往復～3往復。70歳女性→できる？その他耐震シェルターも全世帯無料設置も要望します。（30代 女性）

・家具の補強。非常通信手段の確保。林試公園には震災用の飲料施設があるが会社を誰が管理しているのか全くわからない。これでは非常時に役立たない。（60代 男性）

・原発停止ではなく、原発廃止。（50代 男性）

・地震火災は通常の火災と異なり一般の消火活動は用を成していません。水上機、ヘリコプターよりの散水しか消火活動は不能であるに関わらずその論議が成されていないのは不思議の一言に尽きます。（60代 男性）

・山ほどあります。（60代 男性）

・どの程度の災害の時にどこへ誰に連絡すればいいのか？（40代 女性）

・住宅、密集地、空き家などへ品川区として多様な防災対策を。（40代 男性）

・自宅は分譲マンションです。6階建てですが昭和55年に建築されました。耐震診断に付いて理事会は反対です。売れなくなるからというものです。でも実際に居住しているものにとっては地震が心配なので工事をしたいのです。補助がどれ位、区から出るのか、どうやって調べればいいのか。または補助規準を公にしてもらえないのでしょうか。自治体の発信を望みます。東五反田2-3-10は再開発地域に指定されていませんが理事長が10年後に指定されると言いました。その正確な情報が欲しいです。再開発に指定された時のメリットも知りたいです。自治体は一般市民にも発信して欲しいです。（60代 女性）

・防災対策：揚げ物を一切しないことにした。自治体への要望：東日本大震災を見るにつけ、あまり期待していない。（30代 女性）

・車椅子なのでとても心配です。（50代 女性）

・6に対し、今まで情報が入ってこないのが、不安を持っています。障害を持ち年ごとに体の自由

が出来ないと思います。部屋から動かないでいる事になるでしょう。一寸、心配です。周りとのコミュニケーションが全然無いのも不安です。(70代 女性)

・私は耳が聞こえませんが全く情報が知りません。町会会員も入ってません。近所の人付き合いが悪いじゃなくうまくいかない。特に年配者が私の事を悪口して流れています。大変困っています。(50代 男性)

・町会などの一番小さな自治会の体制を強くして防災にあたりたい。プライバシーの問題であろうが大切なのは命、町会が住民を把握することは必要と感じます。(40代 男性)

・避難しなくとも安心して暮らせる街づくりを目指すべき。と思っています。行政の言う安全は何を持って安全とっているのか、極めて抽象的である。天下りできる事業はすぐ予算化するがそうでない事業は予算削減が図られているように思えてならない。公務員の優遇は許されない(国、地方共々)。公務員自身が困っていないから気付かないのだろうか？議会は毎回朝から夕方、或いは夜まで開いて議論すべきである。その分を含めての報酬であろう。議員公務員以外の方は毎日朝から夜まで明日の心配をしながら暮らしている実状を知るべき。それぞれの家庭の実情を考えた読者拡大をすべきと思う。(60代 男性)

・スーパーリニューアル工法を知っていますか？古い家を建て直すのに内装(柱も含む)工事を行い外壁を作り直し、ペンキ壁塗り、出窓、車庫、ベランダ等改築し1cmも私道、又は区の指導に協力せず、狭い。車も通れないまま！ぬけぬけと生活している人々どう思いますか？災害時も消防車も入れず、区は見ているのか！(60代 男性)

・区への要望。津波によるキケンをホームページなどでわかりやすく明示しておいて欲しい。(30代 男性)

防災でどのくらい助かるのかわかりませんがその後が大変なのではないかな・・・。(60代 女性)

・確か、南大井の災害時集合場所は大井競馬場と認識しているが競馬場のどこかがわからない。雨が降ったとしても中のコース場に集合するのか。もう少しきめの細かな避難施設の設定が必要ではないか。老人に屋根なしは厳しいと思われるが何故なものか？(50代 男性)

・安全な避難場所を知りたいです。(60代 女性)

・災害を未然に防ぐことは出来ません。(男性)

・空地の積極的買い上げと公園化。現在でも空地がいくつか区の所有となって公園になっていると思いますが欲を言えば大きな更地が細分化されて小さな住居として建て直されている場所があります。売主にインセンティブを与えても区が買い上げて地域の予防(火災延焼等)にしてもらいたい。区の広報に「土地買います」の案内を打つ！(50代 男性)

・これからやろうと思っているが、なかなか一歩が踏み出せない。しかし、なるべく早くやらねばとは常々言い聞かせている。今、防災グッズ等、少しだけはじめたところ。(70代 男性)

・ニュース等で東京湾北部地震7等対策津波を早急に考える。予算等も国家の何割も必要。首都ばかり出来ないが野田民主党では無理か。(70代 男性)

・緊急時持ち出し書類やGoodsを決め、場所も所定の位置においている。まずは、自分の身の安全で要望はない。(60代 男性)

・地震(津波)避難所の徹底。品川は海は近く大地震が発生した場合疫病が来る。(60代 男性)

・行政の行っている訓練は実際に対応できるのか？想定外の訓練を行って震災後の言い訳とするのか。もっとシビアな訓練を行われない。公園には災害時のトイレはマンホールあっても上屋なし。誰が取り付けるのか。100%で想定外で済みますのか、中央区の公衆トイレは非常時、便器の床をやぶって使用する。説明文を明記されている食料よりトイレが大切であることは学習済みのはず。

(60代 男性)

・防災について興味関心はあるのですが、自分でやるお金と時間の余裕がないです。自治体がどのようなことをやってくれるのかも、良くわからないし、どうせ経費がかかるのだらうと思ってあきらめてしまっています。お金がない人でも気軽に出来る防災対策をお願いしたいと思います。(30代 女性)

・防災リュックの用意をしています。(30代 女性)

・要望です。私の住む平塚2は火災危険度が4です。個人で出来る減殺対策は限界があります。地区、区全体として真剣に減殺防災に取り組んでください。その為の税金です。地域や社会を良くしていくように税金を納め、政治家や役人を雇っているのです。放射能測定もかなり強く希望します。ガレキ焼却をしているのなら、なおさらです。口先ばかりの安全説には我慢も限界ですよ！(30代 女性)

・家具転倒防止対策を考え中。(50代 男性)

・敷地ぎりぎりいっぱい家を建てているものが多く見られるが、火災の時に危ないのでもっと建築基準法を守って家を建てるように区に指導して欲しい。(40代 女性)

B. その他に、家庭で行なっている防災対策や自治体への要望などお聞かせ下さい。

・公営住宅に住んでいますが、前回の地震に時は、自治会から、何の放送(連絡)がありませんでした。エレベーターも止まり下へ行ったり、来たり出来る状況ではありませんでした。14階建に住んでいますが、下の階と上の階では、地震の体感も影響もかなりちがひ、住民同志の違和感もありました。自治会と各階が情報を共有し合える手段であれば良いのにとつくづく感じました。(50代女性)

・あまり高い(背の高さ)家具は置かない(30代 女性)

・情報提供と防災講座などを何回もやってもらいたい、定期的にわすれるから(60代 男性)

・まだ具体的に家族で集合場所等話し合っていないが近いうちに話し合うつもりです。水の備蓄は一応ありますが食料はまだです、火災がとても心配な地域です、もっと住民を集めて防災に関する話し合いとかできると良いです(60代 男性)

・ここの地域は競馬場が集合場所になっていますが、津波がきたらどうしますか(70代 男性大井6 小作)

・タンス等、寝ている所にたおれてこない様に置いてある、懐中電灯は何ヶ所かに(各部屋)置いてある、災害時IPフォンが使えなくなるって聞き、NTTをつないだままにしてある、(料金は高くなるが)各町会で断水時はどこに行ったら水をもらえとか、食料等はどこへ行ったら配給されとか文章や地図でわかり易く書いた物を各戸へ配って欲しい(50代 女性)

・地域での防災訓練など、みんなが参加する方向で行った方が意識的にも、現実的にも役立つと思います。(40代 女性)

・防災対策は借家(アパート)住いで、策はありません、家主(大家さん)に行政側から最低の対策指定を義務づけてくれたらいい。(70代 女性)

・地震による火災や津波にどう対応するのか、想定外も含めて、種々な避難経路を考えておかなければならない、今の避難場所だけでは人口から考えて充分である(70代 男性)

・災害時情報を正確に早く流してほしい。高齢者に配慮した計画を(60代 女性)

・災害時の連絡、サイレン等の鳴らし方、放送は在宅場合、(すっきり聞こえない)(70代 男性)

・町会では1年に2回やっている(70代 女性)

・日々の生活だけで、防災対策まで、できない(30代 男性)

- ・なにもやっていません。(70代 男性)
- ・電柱の地中化を急いで下さい、品川区は、電柱がまだ、地中化されていません、目黒区など、進んでいる様ですが、景観だけではなく、防災的にも、急いで地中化を進めてほしいです、震災の時、電柱がたおれ、消防車や救急車等のさまたげになり、被害を拡大させてしまうことを、品川区を名差して専門家がTVなどで、指摘されていました。(40代 女性)
- ・逃げる方向を考えている。(区の動きが、伝わってこない) (60代 女性)
- ・ひとり暮らし、勤めているので、町会等の訓練に参加できない。家具が転倒できる程の広い室で寝てない。(50代 男性)
- ・非常持ち出し用の荷物をリュックに入れたり、各部家に、懐中電灯を置いています。非常食も少し備蓄しています。我が家では、タンスや高い棚をおかないので、3.11の際も、たおれる物はありませんでした(30代 女性)
- ・家庭では食品をりっくに準備しています。(70代 男性)
- ・地震が起きた時に電気の元を止める遮断器があると聞いています、全世帯に無料で取り付けたら火災をくい止められるんじゃないかと思えます。1件・2件ではなく、全世帯無料で取り付けしてほしいと思えます。(60代 女性)
- ・寝室に靴、靴下、懐中電灯、ラジオなどを置いている。・家族の人数分の防災頭巾を用意してある。・携帯電話の電池は2つ用意し、1つは必ず満タンにしてある。(40代 女性)
- ・品川区民を全員日本の九州西の方面へ移動して、大至急！！福島セシウム放射能から、にがす政策をしてくれ(50代 男性)
- ・備蓄について→食料、水などは新鮮なものを確保するのがむずかしい何日かに一度、点検するのがたいへん、・家具等について→区の助成をいただいたので、だいたいはよくなった。避難時の必要なもの→衣類、日用品などは何とかなる、☆区への要望→第一次避難場所、第二次・第三次の周知徹底はかってほしい、(70代 女性)
- ・住宅用火災報知機1ヶ所。個人として、ケータイ緊急情報設定。津波表示板？無用の長物(税のむだ使い) 何人が知ってますか、個々は自己責任を生活欲の中にしか観ないものでは、ありませんか。(60代 男性)
- ・賃貸マンションで壁に画びょうや、くぎなどで、穴をあけるとお金を取られるらしいので、TVや大型家具を十分に固定できず不安です。1才の子どもがいて、これから、もう1人生みたいのですが、防災・転倒対策で敷金からひかれられないような住宅の仕組みにして欲しいです。(30代 女性)
- ・ガラスの飛散防止・食器棚の転倒防止・防災用品の購入・警報が聞こえづらい(30代 女性)
- ・ハザードマップや避難所を常に目に付くようなところへ、ちょう付して欲しい。東日本大震災を教訓に、つなみ対策の強化をして欲しい、品川区は海に面しているので心配です。津波対策として、高層ビルと区が協定化して、いざというときは住民に避難場所として開放するなども教えて欲しい(40代 男性)
- ・防災のパンフレットなどへ情報、知識などを習得(40代 男性)
- ・借家の為、家具の転倒防止策が出来ません、カベにキズをつけるなクギを打つな等の事を言われているので、どうする事も出来ません。冬の暖房設備でも石油ストーブがダメと言われてます。電気は不経済でちっとも暖かくないし、何かあったら困ると言うのが何かあったら自分の所ばかりではないはずなのに今は安全装置がしっかりしています。(60代 男性)
- ・消火設備の充実・全世帯に消火器配布、設置。広場の確保等、・防災ビルの確保、大手会社のビル等(なし)

・震度が強くなった時は家庭の電気の安全プレートを切る、安全度によって行動を行う、自治体にはすばやい情報を知らせる事をもっともっと早くしてほしいです。(70代 女性)

・①・②すべて「紙面」で、下記を指導してほしい、①「家」の防災について「方法」を指導と安価で安全防止品物を紹介してほしい②地区の集合場所(防災安全場所)③「マイク」を使用で「防災情報の伝達」をしっかりと各個人に伝わり誤報のないようにしてほしい。(60代 女性)

・防災無線が聞こえないので改善して頂きたい(30代 女性)

・非常持出を用意している(80代 男性)

・対策なし(60代 男性)

・中学校の孫が乗物で通学して居る、林試の森迄とう達出来るか、私は杖が要るので到達出来るかわかりません、共稼ぎで日中は留守です、周囲の家庭も留守で頼める方は居ません。ベッドにヘルメットを用意して居る、一階に居るので倒壊する前に出られるか不明、押し車はあります、又玄関迄廊下が長く、私にとっては、足が不自由で窓からは出られません(1間×2)(80代 女性)

・一次避難場所 延山小学校は校庭が狭く、不適當 二次避難場所 東京工大(大岡山)遠過ぎ 途中笠井、ガレキ等で到達が難しい(80代 男性)

・がらくたが多く、整頓が悪いので、一旦地震になったり火災が発生した場合 燃えやすく、避難が困難と思われ、余計な物を処分する様、心がけている、欲望に負けない様、買い物には慎重にしている。(70代 女性)

・無理して外出はしない、避難場所には近所の方と、一緒に行動する様にします。(50代 男性)

・災害が有った時に学校選択制で、自宅近くの学校より遠くの学校を選択した人はどこに避難するのだろうか？災害時だけ、スルーした(選ばなかった)学校に避難されたらムシが、良すぎる気がします。(40代 女性)

・飲料水の備蓄は必要だと思うので、階段を利用してペットボトルに水を入れて用意しております。風呂浴槽には常時水を張って災害時に対応しています。防災用具リュック(薬品・電灯・ラジオ)に必要と思われるものを用意しております。(70代 男性)